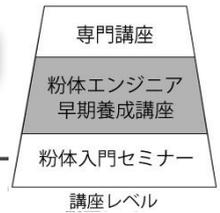




‘19 第3回 粉体エンジニア早期養成講座 ～細川明彦・佐知子基金補助事業～ 【粉体ハンドリング I (輸送・供給)】



2019年9月17日(火)～9月18日(水) 埼玉県

講座目標

粉体技術の原理原則をしっかりと理解し、それを基盤に、実務に関する技術を習得して応用・展開能力を身につけていただくことを最大目標としています。知識・技術を確実に根付かせるために、実践的な実習や演習を多く取り入れています。「粉体エンジニア早期養成講座」シリーズはこの【粉体ハンドリング I (輸送・供給)】の他に、【計測・測定】、【分級】、【粉体ハンドリング II (プラント・貯槽)】、【粒子加工】、【ろ過】、【乾燥】、【粉碎】、【集じん】、【混合・混練】の10科目で構成されています。なお、【計測・測定】は、他の9講座に共通する「計測・測定」に焦点を当てた講座になります。粉体エンジニア早期養成講座を初めて受講される方は、ぜひこちらの講座を受講されることをお勧めします。「基礎的な知識の習得」につきましては、粉体入門セミナーを受講いただけますと幸いです。また、合計5科目以上受講された方には、各科目の修了証のほかに「粉体エンジニア早期養成講座修了証」を授与いたします(受講年度及び受講順序は問いません)。

受講対象者

- ・化学工学関連産業(化学・薬品・素材製造・プラント製造など)に携わる技術者(実務経験～7年程度)
- ・中小・中堅の粉体関連エンジニアリング企業の技術者
- ・大学院生
- ・当協会が主催する「粉体入門セミナー」受講修了レベル

開催日程

2019年9月17日(火) 10:20～17:50
技術交流会 18:30～20:30
9月18日(水) 8:50～16:10

会場

[株式会社日清製粉グループ本社](#)

上福岡研究所群内 研修所

〒356-8511

埼玉県ふじみ野市鶴ヶ岡 5-3-1

募集人員

10名(最少開催人数6名)

〆切日：9月3日(火)

※定員になり次第締切させていただきます。

※最少開催人員に満たない場合は開催出来ない場合もあります。

※講座会場企業と同業社の方の参加はお断りすることがあります。

※申込多数の場合は1社2名までとさせていただきます。

【会場地図】

東武東上線 上福岡駅下車の後、以下のいずれかの方法でお越しください。

- ・徒歩約20分
- ・タクシー約5分「日清製粉の研究所まで」と告げてください。
- ・バス「鶴ヶ岡循環」に乗り「ビバモール前」下車
なお、日清エンジニアリング(株)とは入り口が異なりますのでご注意ください。

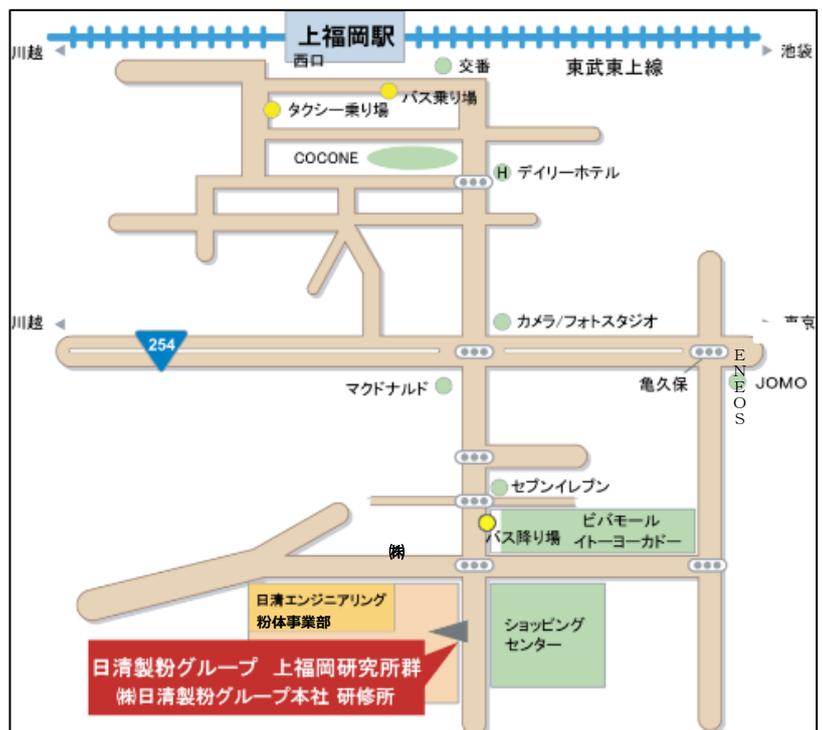
※技術交流会の会場は上福岡駅周辺を予定。

※宿泊の手配が必要な方は、各自でお手配をお願いします。

【上福岡周辺のホテルのご紹介】

- ・デイリーホテル 上福岡駅前店

<https://dailyhotel.jp/kamifukuoka>



受講料

単位：円

会員	非会員	大学院生
57,130+税	76,112+税	18,982+税

※上記金額には、昼食代、テキスト代、技術交流会参加費を含みます。
また、消費税は8%適用となります

※会員は日本粉体工業技術協会（特別協賛会費特典対象外）、
及び化学工学会の会員

※受講者に対する傷害保険は加入しています。

講師

中津井 誠一 氏 (株式会社椿本バルクシステム)
村越 正宏 氏 (赤武エンジニアリング株式会社)
蓮見 美徳 氏 (株式会社セイシン企業)
西村 浩 氏 (アマノ株式会社)

松山 宇光 氏 (元アマノ株式会社)
本多 肇 氏 (日清エンジニアリング株式会社)
江間 秋彦 氏 (株式会社日清製粉グループ本社)

講座内容

粉体の輸送、供給の単位操作を含めた粉体ハンドリングシステムの基礎から実設計までを学び、輸送・供給の機種選択と設計を体系的に習得し、プロセス設計の能力を身につけていただきます。供給機、空気輸送装置の設計演習・実習ではデータ解析を行っていただきます。同時に輸送・供給特性に影響を及ぼす粉体物性（高密度や流動性）の実習を行います。

第1日

① 機械式輸送装置の概要とトラブル対策

機械式輸送装置の種類と特徴を説明し、粉体物性や用途に応じた選定法を示す。また、実プラントでのトラブル例を示し、その要因分析と防止対策について述べる。

② 供給機の概要、選定法とトラブル対策

供給機の目的と役割を示し、供給機の種類および粉体物性や要求される仕様等による選定法を教授する。また、実プラントでのトラブル例を示し、その防止対策を述べる。

③ 輸送・供給における粉体物性とその測定

輸送・供給における粉体物性（流動性など）と測定法について概説し、実習を行う。

④ 供給機の設計演習と実習

供給機設計の基礎を学ぶとともに実機を用いて実習する。粉体、条件などを変更しデータを収集する。

第2日

① 空気輸送装置の概要と選定法

粉粒体用空気輸送装置の種類と特徴を示し、その選定法を示す。また、空気輸送システムを構成する機器の選定法を述べる。

② 空気輸送装置の計画とトラブル対策

空気輸送装置の計画手順について述べ、輸送計算の具体例を示す。更に、空気輸送装置の実プラントでのトラブル例を示し、その要因分析と防止対策を述べる。

③ 空気輸送システムの設計演習と実習

空気輸送装置の管径、風速、圧損などを算定することによるシステム設計を演習・実習する。

④ まとめと質疑応答

実習結果の確認と質疑応答を行うとともに、講師によるアドバイスを講評を行う。

申込方法 (4月1日(月)より受付開始)

① 日本粉体工業技術協会のホームページ（HOME⇒セミナー・講演会・見学会⇒[教育部門のセミナー・講座](https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=souki1)）上から、お申し込みください。⇒ <https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=souki1>

② 申込書受領後、1週間以内に参加申込受理をメールにてご連絡いたします。

③ 参加費のお支払いについては、銀行振込、または、事前カード決済となります。

事前カード決済をご希望の方は後日、決済用 URL をお送りします。
決済用 URL より振込期限日までお手続きください（決済手数料は協会負担）
請求書発行（銀行振込）をご希望の方には後日、請求書をお送りします。

そちらに記載の口座へ振込期限日までにお振込み下さい。（振込手数料は貴社でご負担ください。）
請求書は毎月20日発行となっております。お急ぎの場合はご連絡ください。

また、銀行振込、または、事前カード決済のどちらも、お振込みいただいた参加費は返金できませんので、欠席の場合は代理の方のご参加をお願いいたします。

④ 振込期限日は、9月13日（水）になります。

⑤ 9月4日（水）以降のキャンセルは受けられません。

⑥ 申込先・問合せ先 一般社団法人日本粉体工業技術協会

〒600-8176 京都市下京区烏丸通六条上ル北町181第5 3号ビル7階

TEL : 075-354-3581 FAX : 075-352-8530 E-mail : enjinia@appie.or.jp

こちら QR コードからも
申込フォームにアクセス
できます。

